

欄に記入してください

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 東洋シート

(2) 事業所の所在地

〒736-0002 広島県安芸郡海田町国信1-6-25

(3) 業種

自動車部品付属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度（2013年）を基準年度とし、令和3年度（2021年）から令和12年度（2030年）までの10年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

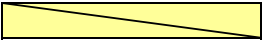
単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和12年度 (2030)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
エネルギー 起源CO ₂	4,781	3,200 33.1	4,159 13.0	3,766 21.2	3,779 21.0	2,403 49.7	2,736 42.8
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する自己評価	2024年度は、再生エネルギー100%電力の購入（別指標にて変動）を少なくしたため排出量は上がっている（目標を上回っているのは、別指標にて各拠点分も補っている為）。 省エネ法原単位は、分母の大幅な減のため大きく悪化。しかし、建屋建て替えによる電力使用量を抑える施策実施や次期中期経営計画へのCN活動織り込みを行い、今後の活動へつながる1年だった。評価△						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：



温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績に対する自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量の削減	二酸化炭素排出量 6.3 (t-CO2) 削減	・ 照明のLED化 食堂30台 0.9t-CO2 ・ 倉庫クレーンインバーター&モーター6台を高効率なものへ更新 5.4t-CO2
2	温室効果ガス排出量の削減	電力使用量 6.2%削減	・ オフサイト太陽光発電導入 362MWh (200t-CO2)
		電力使用量 1.5%削減	・ 太陽光自家発電導入 8.5MWh (5t-CO3)
3		電力使用量 28.8%削減	・ 非化石率の高い電力購入 1,680MWh (927 t-CO2)
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	—	
2	—	
3	—	

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	空調の生産終了10分前停止活動		空調を生産終了10分前に停止することで電力使用量の削減。2025年1月から活動開始
2	CN活動年間カレンダー作成・実施		照明の担当決め、トイレ便座暖房OFF、エアコンフィルター清掃等を年間カレンダーを作成し、年間を通じての活動絵を社員へ展開した。
3	新建屋の環境配慮		・ 照明タスク・アンビエント&人感センサー採用。 ・ 遮熱塗料採用（屋上、壁） ・ Low-e ガラスの採用 ・ 簡易BEMSによる空調管理（デマンド、時間制御） ・ 高効率受電トランス採用 ・ 屋上に太陽光自家発電設置（10KW出力）

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。